

2020年度 早稲田大学法学部 世界史

I

設問 1 ② 設問 2 ③ 設問 3 ① 設問 4 ② 設問 5 ③
設問 6 ④ 設問 7 ② 設問 8 ④ 設問 9 ②

II

設問 1 ウ 設問 2 イ 設問 3 イ 設問 4 ウ 設問 5 エ
設問 6 エ 設問 7 イ 設問 8 エ 設問 9 エ

III

設問 1 3 設問 2 4 設問 3 2 設問 4 3
設問 5 1 設問 6 3 設問 7 2 設問 8 4

IV

設問 1 ハ 設問 2 ニ 設問 3 ロ 設問 4 ニ
設問 5 ロ 設問 6 イ 設問 7 ニ 設問 8 イ

V

メキシコからテキサス共和国が独立し、アメリカによるテキサス併合が行われると、両国の対立が激化しアメリカ＝メキシコ戦争が勃発し、メキシコはカリフォルニアなどの領地を失った。その中でメキシコ革命後、当初アメリカは革命の進展を危険視し、反革命派を支援していた。独裁化の傾向を見せたメキシコに対しウィルソン政権が合憲的な政権の樹立を要求して海兵隊を派遣したが、メキシコ側の強い反発を招き撤退した。第二次大戦後、メキシコは米州機構に加わっていたが、キューバ革命後の制裁には反対するなどアメリカには一定の距離を保っていた。対外債務が増加したこととアメリカとの関係性を見直し、1994年に北米自由貿易協定が発足した。(300字)